

スマホマップのなかの歴史

スマホやタブレットの地図は、使いなれてくるとなかなか重宝するものだ。いわゆるG社のマップを仕込んでいる人は多いかと思うが、大きな通りはともかくとして、僕のような地図好きの者が知らないような、レアな通りの名前が表示されていたりする。

先日、要町のあたりを歩いたときにスマホのマップを確認して知ったのが、銀婚通りという道。これは別に表示板や謂れ書きが出ていることもないのだが、ネットで見つけた郷土史の書きこみによると、大正天皇の銀婚式の時期に開通した……なんて由来があるらしい。おそらく、クチコミで地元根付いた名称なのだろう。

大森から蒲田にかけてのJR線の東を南北に走る道は桜新道、沢田通り、東邦医大通りと区間によっ



東京と私 第25回

泉麻人

て名を変えているが、東邦医大通りのところには（鬼タビ通り）というサブネームが付いている。この「鬼タビ通り」という名称、以前その辺を車で通りかかったときに電柱に掲示された商店会のプレートか何かで見た記憶があるのだが、これはかつて沿道に存在した「鬼タビ」という足袋メーカーの工場がもとらしい。現在、大森第八中学校が置かれている場所というが、タブレットに入っている古地図アプリでチェックすると、確かに大正時代の地図には田畑の中に「鬼足袋工場」と表示されている。すぐ横に内川という川が流れているから、この水が足袋生産にも活用されたのかも知れない。ちなみにこの川の下流は大森のノリ漁の「べか舟」と呼ばれた小舟が停泊していた地帯である。

さらに「鬼タビ」関係の資料を調べると、金棒を持った強そうな鬼を描いた足袋のラベルの写真もあった。「強き事 鬼の如く 染色の堅き事 鉄棒の如し 一足一冬 鬼足袋」キャッチフレーズもシャレている。

コール天生地の室内用足袋だったというけれど、一足一冬とは「防寒」にも愛用されていたということなのだろう。

いずみ・あさと 1956年、東京生まれ。東京、昭和、サブカルチャー、街歩き、バス旅などをテーマに数々のエッセイ、コラムを発表している。

② 東京と私 スマホマップのなかの歴史 泉 麻人

経営を物語る

④ 経営者は365日24時間営業。環境領域PANECO®で勝負をかける。

株式会社ワークスタジオ 代表取締役 原 和広氏

きらぼし経済レポート

⑨ 2月の都内経済状況 きらぼし銀行 連携推進部

きらぼし講演会・セミナー

⑩ 第16期きらぼしトップスクール

SDGs 経営ワークショップ

きらぼしコンサルティング シニアコンサルタント 橋本 斉

事業承継において私が大切にしてきたこと

協和ホールディングス株式会社 代表取締役社長 立松和也氏

きらぼしセミナー

絶対に押さえておくべき税務調査の基本と対策

辻・本郷税理士法人 税理士 大久保隼人氏

TOKYO NOW

⑫ 最新技術教室 中小企業と生成AI ③ 上田雄登

⑭ ——経営に生きる—— W・バフェット 投資の哲学 第2章 桑原晃弥

経営実務+教育

海外ビジネスレポート

⑬ ～イベントレポート編～

国内外の28社が参加！ KIRABOSHI SUMMIT

海外ビジネスレポート

⑮ ～外国人材活用編～

⑯ 外国人材受け入れ制度の現状と、インドネシア人材の魅力 下茅 亮

知的資産

⑳ 知的資産を活かすため、経営をデザインする —その3— 強瀬理一

きらぼし健康手帖

㉒ 腸内環境(腸内細菌叢)と肥満 山下浩子

経営者、歴史に学ぶ

㉔ みかんで巨富を築いた？ 伝説の豪商 紀伊国屋文左衛門 加来耕三

㉗ 趣味研鑽 マインドフルネス③ 島津清彦

㉘ 東京圏のミュージアム 豊島区立 熊谷守一美術館

㉙ きらぼしシネマサロン 前田有一

KIRABOSHI

題字 白石雪妃 (書家)



表紙／東京消防庁高輪消防署 二本榎出張所
1933(昭和8)年に建設された現役の消防署。円形の望楼(火の見櫓)を備えたモダンな3階建てで、円筒曲面を用いた表現は全国的にも貴重なもの。
2010(平成22)年3月に東京都選定歴史的建造物に選定され、文化的建築物である防災拠点として現在に至っている。

デザイン・表紙イラストレーション：伊東浩司